

得点		演習問題	実施日	月 日	氏名	
		単元名：基本的人権 ②				

【1】 次の日本国憲法の条文中の  にあてはまる語句を、あとの( )からそれぞれ選んで答えよ。

第11条 国民は、すべての基本的人権の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的人権は、侵すことのできない  の権利として、現在及び将来の国民に与へられる。

第12条 この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない。又、国民は、これを  してはならないのであって、常に  のためにこれを利用する責任を負ふ。

第13条 すべて国民は、 として尊重される。生命、自由及び  追求に対する国民の権利については、 に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

第14条 すべて国民は、 の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、 されない。

( 個人 永久 法 公共の福祉 幸福 濫用 差別 )

ア		イ	
エ		オ	カ
キ			

【2】 次の問いに答えよ。

(1) 自由権は大きく3つに分類することができる。次の①～⑤をそれぞれ何といいますか。

- ① 奴隷的拘束や苦役を受けることなく、逮捕・拘禁などについても正当な理由・手続きがなければ、行われない。( )
- ② どのような宗教を信仰してもよいし、好きな勉強や研究をし、その成果を発表できる。( )
- ③ 自分の希望する仕事につくことができる。( )
- ④ 思想・良心の自由、集会・結社・表現の自由などのこと。( )
- ⑤ どこに住んでも、移って行ってもよいこと。私有財産の保障など。( )

(2) 公共の福祉(社会の利益)を優先し、人権が制限されている具体例をあげなさい。

( )

【3】 次の問いに答えなさい。

(1) 次の日本国憲法の条文中の  にあてはまる語句を答えなさい。

第25条 すべて国民は、 で  な最低限度の生活を営む権利を有する。

第26条 すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく  を受ける権利を有する。

第28条 勤労者の  する権利及び団体交渉その他の団体行動をする権利は、これを保障する。

ア		イ		ウ		エ	
---	--	---	--	---	--	---	--

(2) (1)の第25条の権利を何といいますか。( )

【4】 次の文中の  に適する語句をそれぞれ答えなさい。

(1) 選挙で投票をしたり立候補をしたりするほか、憲法改正の承認のための投票をするなど、国民の  ① 権が保障されている。

(2) (1)や、裁判を受ける権利、請願権、刑事補償請求権などを合わせて  ② 権利とよんでいる。

(3) 憲法には明記されていない新しい人権の1つとして、人間らしい生活環境を求める  ③ 権がある。

(4) 情報化社会の中で正しい判断を行うために、国や地方公共団体などに情報の公開を求める  ④ 権利の重要性が高まっている。

(5) (4)の権利とともに、個人情報を守る  ⑤ の権利も重要である。

(6) 個人が自分の生き方について自由に決定する権利は、 ⑥ とよばれ、インフォームド・コンセントやホスピスなどで問題となっている。

(6) 国民の義務としては、仕事について働く  ⑦ の義務、子どもに普通  ⑧ を受けさせる義務、国や地方公共団体に税金を納める  ⑨ の義務、の3つがある。

①		②	
③		④	
⑤		⑥	
⑦		⑧	
⑨			

得点		演習問題（解答）	実施日	月 日	氏名	
		単元名：基本的人権 ②				

【1】 次の日本国憲法の条文中の □ にあてはまる語句を、あとの( )からそれぞれ選んで答えよ。

第11条 国民は、すべての基本的人権の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的人権は、侵すことのできない □ ア の権利として、現在及び将来の国民に与へられる。

第12条 この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない。又、国民は、これを □ イ してはならないのであって、常に □ ウ のためにこれを利用する責任を負ふ。

第13条 すべて国民は、 □ エ として尊重される。生命、自由及び □ オ 追求に対する国民の権利については、 □ ウ に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

第14条 すべて国民は、 □ カ の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、 □ キ されない。

( 個人 永久 法 公共の福祉 幸福 濫用 差別 )

ア	永久	イ	濫用	ウ	公共の福祉
エ	個人	オ	幸福	カ	法
キ	差別				

【2】 次の問いに答えよ。

(1) 自由権は大きく3つに分類することができる。次の①～⑤をそれぞれ何といいますか。

- ① 奴隷的拘束や苦役を受けることなく。逮捕・拘禁などについても正当な理由・手続きがなければ、行われない。  
( 身体の自由 )
- ② どのような宗教を信仰してもよいし、好きな勉強や研究をし、その成果を発表できる。  
( 精神の自由 )
- ③ 自分の希望する仕事につくことができる。  
( 経済活動の自由 )
- ④ 思想・良心の自由、集会・結社・表現の自由などのこと。  
( 精神の自由 )
- ⑤ どこに住んでも、移って行ってもよいこと。私有財産の保障など。  
( 経済活動の自由 )

(2) 公共の福祉(社会の利益)を優先し、人権が制限されている具体例をあげなさい。

伝染病にかかった場合などに行動が制限されることがある。表現の自由について個人の名誉を傷つける行為の禁止。医師や弁護士などは特別な学歴や資格が必要であり職業選択の自由を制限している。 など

【3】 次の問いに答えなさい。

(1) 次の日本国憲法の条文中の □ にあてはまる語句を答えなさい。

第25条 すべて国民は、 □ ア で □ イ な最低限度の生活を営む権利を有する。

第26条 すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく □ ウ を受ける権利を有する。

第28条 勤労者の □ エ する権利及び団体交渉その他の団体行動をする権利は、これを保障する。

ア	健康	イ	文化的	ウ	教育	エ	団結
---	----	---	-----	---	----	---	----

(2) (1)の第25条の権利を何といいますか。( 生存権 )

【4】 次の文中の □ にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。

- (1) 選挙で投票をしたり立候補をしたりするほか、憲法改正の承認のための投票をするなど、国民の □ ① 権が保障されている。
- (2) (1)や、裁判を受ける権利、請願権、刑事補償請求権などを合わせて □ ② 権利とよんでいる。
- (3) 憲法には明記されていない新しい人権の 1 つとして、人間らしい生活環境を求める □ ③ 権がある。
- (4) 情報化社会の中で正しい判断を行うために、国や地方公共団体などに情報の公開を求める □ ④ 権利の重要性が高まっている。
- (5) (4)の権利とともに、個人情報を守る □ ⑤ の権利も重要である。
- (6) 個人が自分の生き方について自由に決定する権利は、 □ ⑥ とよばれ、インフォームド・コンセントやホスピスなどで問題となっている。
- (6) 国民の義務としては、仕事について働く □ ⑦ の義務、子どもに普通 □ ⑧ を受けさせる義務、国や地方公共団体に税金を納める □ ⑨ の義務、の3つがある。

①	参政	②	基本的人権を守るための
③	環境	④	知る
⑤	プライバシー	⑥	自己決定権
⑦	勤労	⑧	教育
⑨	納税		